報告１

①

令和７年９月 24 日
生 涯 学 習 課

令和７年度「IBARAKI ドリーム・パス」戦略チームの決定について

１　主な戦略チーム　※全１６チームは次ページ一覧のとおり

・県立日立第一高等学校

「茨城ダッシュ二重取り消し線と書いて「あんぜんいばらき」と読む」

（茨城ダッシュによる事故をシミュレーション解析し、事故防止を啓発）

・県立水海道第一高等学校

「コーヒー豆残渣の新しいアップサイクルの形！―食料品の開発―」

（コーヒー豆残渣を活用した新食品を開発し、資源の有効活用と環境負荷軽減）

・東洋大学附属牛久高等学校

「牛久大豆 II で創る“ワインに恋する Soy うな丼”を世界へ！！」

（ワインの搾りかすを活用して大豆を栽培。大豆ミートのうな丼で地域活性と環境貢献）

２　事業概要

高校生等が、自分の夢や地域の課題解決に向けた企画立案や実践活動を通して、高い創造意欲を持ち、リスクに対しても積極的に挑戦できるアントレプレナーシップ（起業家精神）を育成する。

３　応募状況　　（募集期間：令和７年６月２日～７月３１日）

年度	Ｒ７	Ｒ６	Ｒ５
応募企画数（件）	８５７	７４５	２４４
参加学校数（校）	８６	９７	９３
参加生徒数（人）	２，３０５	２，４７３	１，１５２

※選考過程

一次・二次の書類選考及びオンラインによる最終選考により、１６チームを決定

４　今後のスケジュール

・９月 12 日：実践活動ガイダンス（大学生が実践活動をサポート）

※戦略チームには 10 万円の活動資金を提供

・12 月 ９ 日：中間報告会

・１月 22 日：プレゼンテーション大会（県庁９階講堂）

戦略 16 チームによる取組内容及び成果の発表、グランプリ等の決定

■戦略 16 チームの企画一覧

	学校名	学年	企画名	概要
1	県立水戸第一高等学校附属中学校	3	戦跡ウォークラリー ― つなぐ戦争の記憶 ―	戦跡ウォークラリーを通して、身近な戦争の記憶を共有し、次世代に繋ぐことを目指す。
2	県立日立第一高等学校	2	茨城ダッシュ二重取り消し線と書いて「あんぜんいばらき」と読む	茨城ダッシュによる事故をシミュレーション解析し、事故防止の啓発を目指すとともに、安全支援システムの発展に寄与する。
3	県立緑岡高等学校 県立水戸農業高等学校	1	軽量培地を用いて、人々の意識改善へ	廃資材を用いた軽量培地開発で植物栽培を容易にし、環境負荷軽減とリサイクル意識改善を促す。
4	県立那珂湊高等学校	2	廃棄物食用牡蠣貝殻から消毒用ペーパーを製造！	廃牡蠣殻から抗菌・消毒効果のあるペーパーを製造し、資源循環型社会の実現を目指す。
5	県立ＩＴ未来高等学校	3	KASAMA INARI QUEST	【継続】謎解き×推し活で若者の菊まつりへの参加を促進し、地域経済の活性化と持続的なイベント運営を目指す。
6	県立玉造工業高等学校	3	究極の焼き芋をつくりたい！ AI 焼き芋製造機の開発・研究	いつでも誰でも簡単に究極の美味しい焼き芋が作れるよう、AI 搭載焼き芋製造機を開発する。
7	県立石岡第二高等学校	3	魅力発信 遊んで交流 石岡オリジナルカードゲーム・Yappe	石岡の魅力発信と交流促進を目的に、地域特産品や文化を題材にしたカードゲームを開発する。
8	県立竹園高等学校	2	複数の藻類油脂を混ぜ合わせた新たなバイオ燃料を開発する	複数の藻類油脂を混合し、高効率で環境負荷低減する新たなバイオ燃料の開発を目指す。
9	県立下妻第一高等学校	3	Web サイトを用いた学校情報の一括閲覧計画 #デジタル化推進	生徒と教職員の負担軽減と情報共有の円滑化を図るため、学内の情報の総合ポータルサイトを構築する。
10	県立水海道第一高等学校	1	future girls’hub 私の街で見つける私らしい未来	高校生等と地域で活躍する女性との交流を促進し、女性が自分らしく生きられるよう、新しいキャリアや生き方の提案をする。
11	県立水海道第一高等学校	2	コーヒー豆残渣の新しいアップサイクルの形！―食料品の開発―	コーヒー豆残渣を活用した新食品を開発し、資源の有効活用と環境負荷軽減を目指す。
12	県立勝田中等教育学校	5	Tech 防災 2025 －共に学び、共に生きる社会へ－	【継続】多言語・やさしい日本語で学ぶ「防災運動会」の開催を通じて、地域の共生と災害対応力を高める。
13	県立古河中等教育学校	4	Dream Bridge－夢と未来をつなぐ架け橋	企業と中高生を繋ぐマッチングサイトを構築し、職業体験を通じた夢の実現をサポートする。
14	東洋大学附属牛久高等学校	3	牛久大豆 II で創る“ワインに恋する Soy うな丼”を世界へ！！	ワインの搾りかすをたい肥として大豆を栽培し、大豆ミートのうな丼で地域活性と持続可能な地域モデルの構築を目指す。
15	茗溪学園高等学校	1	君の一票で人生が変わる？！僕らの選挙ライフ	選挙を学べるボードゲームを作成し、これから選挙権を持つ子どもの政治参加意識と関心を高める。
16	土浦日本大学中等教育学校	4	OVERVIEW ACADEMY -宇宙視点で未来を創る	VR 体験を通じて地球に対する意識を高め、未来を創るリーダー育成を目指す教育プロジェクトを推進する。

報告２

②

令和７年９月24日
生 涯 学 習 課

令和７年度「いばらき教育の日・教育月間」シンポジウムについて

１　目　的

県民の教育に対する関心と理解を深めるとともに、生涯にわたって自ら学び、郷土を愛し、地域社会の形成に主体的に参画する人づくりを進めるため、いばらき教育月間において、シンポジウムを開催する。

２　テーマ　　情報化の進展と教育

３　日　時　　令和７年11月15日（土）　13:30～16:00（受付13:00～）

４　会　場　　茨城県庁９階講堂

５　対　象　　県内在住の小中高生とその保護者、教育関係者　外

６　定　員　　375名（要申込、無料）

７　内　容

(1) 第一部　基調講演（90分）
　講　師：佐藤 雅彦 氏（東京藝術大学大学院名誉教授）
　演　題：「作り方を作る」
(2) 第二部　パネルディスカッション（40分）

８　広報及び募集

- 茨城県教育委員会ホームページ、チラシ等にて広報
- いばらき電子申請・届出サービスにより申込受付（10月１日～予定）
- 応募者多数の場合は抽選

（参考）　　生涯学習課

いばらき教育の日・教育月間シンポジウム

１　日時 等

令和７年11月15日（土）　13:30～16:00（受付13:00～）

茨城県庁９階講堂（水戸市笠原町９７８番６）

２　第一部　基調講演　（13：40～15：10）

講師　　佐藤　雅彦（さとう　まさひこ）東京藝術大学大学院映像研究科名誉教授

演題　「作り方を作る」

(経歴)

1954　静岡県田方郡戸田村（現・沼津市）に生まれる

1977　東京大学教育学部を卒業、電通に入社

1987　電通クリエイティブ局に移籍、ＣＭプランナーとして
湖池屋「スコーン」(1988)「ポリンキー」(1990)、
NEC「バザールでござーる」(1991)、
サントリー「モルツ」(1992) などを手がける

1994　電通を退社、企画事務所「TOPICS」設立
プレイステーションソフト「I.Q」(1997／売上本数総計 101 万本）や「だんご３兄弟」(1999／CD 売上枚数 380 万枚)、などジャンルを横断したコンテンツを次々とヒットさせる

1999　慶應義塾大学環境情報学部教授

2002　慶應義塾大学佐藤雅彦研究室での研究と実践をベースにした幼児教育番組「ピタゴラスイッチ」（ＮＨＫ教育）放映開始。以降、国民的番組に

2005　佐藤雅彦研究室 OB によるクリエイティヴグループ「ユーフラテス」設立

2006　東京藝術大学大学院映像研究科教授（2021 年より名誉教授）

2011　芸術選奨文部科学大臣賞受賞

2013　紫綬褒章受章

2014　カンヌ国際映画祭短編部門に正式招待（2018 年も）

３　第二部 パネルディスカッション（15：20～16：00）

モデレーター：生井 秀一（県立下妻第一高等学校・附属中学校校長）※公募校長

パネリスト　：①多田 遥香（株式会社 Griteen 代表取締役社長）

中学１年からプログラミングに触れ、高校時代に３万チームが参加するロボットコンテストの世界チャンピオンに。筑波大学の工学システム学類へ進学し、飛び級し３年間での早期卒業を達成。同大学院に進学し、研究活動に励む中、シリコンバレーへ留学。留学での経験から日本の理系分野の女性進出に課題を感じ、プログラミング教育をさらに女性にも広めたい思いから株式会社 Griteen を設立。筑波大学理工情報生命学術院 博士課程在学中。

②浅沼 琉音（県立水戸第一高等学校２年）

Ｒ５・Ｒ６IBARAKI ドリーム・パス戦略チーム（ゴーライブラリー）の代表として県立図書館の魅力発信などの活動に取り組む。６月の文化祭ではＩＴ係として、クレジットカードをはじめ、交通系電子マネー、スマホ決済など計 20 種以上の決済手段に対応するキャッシュレス決済の導入を実現。

③千葉 徹也（教育庁学校教育部教育改革課ＩＣＴ教育推進室指導主事）

４　司会進行

三島　早織　キャスター

報告③

2025年9月24日
義 務 教 育 課

次世代グローバルリーダー育成事業（ＮＧＧＬ）の取組について

１　ワールド・スカラーズ・カップ世界大会（ソウル）の結果

2025年７月24日（木）から31日（木）に、韓国・ソウルにて開催

ＮＧＧＬの受講生34名中16名が世界決勝大会への出場権獲得（過去最多）

（2024年３名、2023年６名、2022年４名、2019年５名）※ 2020年～2021年はコロナ禍のため中止

※ 国内・県内の出場権獲得者の総数は、非公表

＜出場権獲得者の在籍校内訳＞

水戸一高２名、水戸一高附属中１名、日立一高１名、勝田中等１名、
土浦一高１名、土浦一高附属中２名、並木中等３名、茗渓学園３名、
つくば市立学園の森義務１名、Ｓ高１名、

＜出場権獲得者の学年内訳＞

中学３年・６名　　高校１年・２名　　高校２年・８名

＜出場権獲得者の英語力＞（ＮＧＧＬ選考時）

英検１級・２名　　英検準１級・６名　　英検２級・７名　　英検準２級・１名

○ 参考：ワールド・スカラーズ・カップとは

・英語によって総合的な教養を競う国際大会
・ディベート、エッセイ、筆記、スカラーズボウル（教養を問うクイズ）の４種目
・60か国から５万人以上が参加
・国内大会→世界大会（ソウル・バンコク等）→世界決勝大会（2025年11月６日（木）～12日（水）米国・イエール大学）

２　夏季集中研修の実施

2025年８月17日、18日の２日間

模擬国連演習、海外留学生との交流、探究力育成講座、マッセイ大学（ニュージーランド）教授による講義等を実施

参考

次世代グローバルリーダー育成事業（ＮＧＧＬ）

１　事業概要

＜目　　的＞

学習意欲の高い中高生を対象に、海外の人々とコミュニケーションをとりながら 課題を解決していくための思考力や探究力、リーダーシップなどの育成をねらいとして、インターネットを活用したトップレベルの英語講座、集合研修会、海外大学留学生との交流プログラム等を提供することで、グローバル社会で活躍できる『人財』を育成する。

＜対　　象＞　県内在住の中学２年生～高校２年生
・２年間のプログラム
・2025 年度は 83 名が参加

＜事業開始＞　2018 年

＜委託業者＞　株式会社ベネッセコーポレーション

２　研修内容等

(1)　定期研修会
- ○　探究力育成講座（課題解決力、プレゼンテーションスキルの習得）
- ○　英語セッション（コミュニケーションスキル、ディベートスキルの習得）
- ○　修了生との交流
- ○　世界の第一線で活躍する人財との交流

(2)　夏季集中研修
- ○　海外大学留学生との交流、模擬国連演習、海外大学教授による講義

(3)　英語講座
- ○　グループレッスン（週１回／平日 90 分～120 分）＜オンライン＞
- ○　エッセイ講座（年６回程度／年３課題）＜通信添削＞

(4)　各種大会
- ○　ワールド・スカラーズ・カップ
- ○　即興ディベート大会

	全体行事等	定期研修会等	英語講座	各種大会
4月	・事業説明会❶		研修開始❷	
5月	・募集❶			**・ワールド・スカラーズ・カップ 国内大会（東京）❷**
6月	・開講式❶	・定期研修会❶❷ ※修了生との交流	研修開始❶	
7月		・定期研修会❶❷ ※修了生との交流		**・ワールド・スカラーズ・カップ 世界大会（韓国）❷**
8月		**・夏季集中研修❶❷**		
9月				
10月		・定期研修会❶❷ ・世界の第一線で活躍する人財との交流❶❷		
11月				**・ワールド・スカラーズ・カップ 世界決勝大会（米国）❷**
12月		・定期研修会❶❷		
1月		・定期研修会❶❷		
2月				・即興ディベート大会❶❷
3月	・修了式❷	・定期研修会❶❷ ・プレゼン発表会❷		

❶…１年目の受講生（８期生）、❷…２年目の受講生（７期生）

【ワールド・スカラーズ・カップ世界大会（ソウル）】

△　ＮＧＧＬからの出場者

△　大会会場

△　他国の参加者との交流

【夏季集中研修】

△　海外留学生との交流

△　グループディスカッション

報告4　2025年度プログラミング・エキスパート育成事業

高校教育課　4

目標：全国トップレベルのプログラミング能力をもつ中高生の育成をとおして、グローバル社会で活躍する「人財」を育成する。

- 3つのコースに特化したオンラインスクールや対面講習会を提供し、各種コンテスト入賞やアプリのリリースを目指す。
- 応募者総数234名の中から各コースの参加者51名を選考

委託先：株式会社CA Tech Kids

＜プログラミングコース＞

コース目標

国際情報オリンピック出場

競技プログラミング

一般社団法人情報オリンピック日本委員会 The Japanese Committee for International Olympiad in Informatics

- 参加者数11名
- 情報オリンピック日本委員会の強化委員を講師として招聘
- オンライン個別支援や対面講習会で実践力強化

生徒開発アプリのリリース
［神ゲー創造主エボリューション入賞］

ゲーム・アプリ開発プログラミング

CA Tech Kids

- 参加者数20名
- オンラインによる個別支援と対面講習会
- 個人のレベルやニーズに合わせたカリキュラム
- iPhoneアプリや3Dゲームの開発

AIの社会実装
［アプリ甲子園（AI開発部門）入賞］

new **AIプログラミング**
㈱サイバーエージェント監修

CyberAgent

- 参加者数20人
- オンラインによる個別支援と対面講習会
- 生成AI活用、チャットボット開発
- AI数学（ベクトル、線形代数　等）

＜活動状況＞

6月　競技プログラミングコース始動！

6月22日（日）茨城県から国際情報オリンピックへの出場を目指すべく、県内トップレベルの中高生競技プログラマーが一堂に会し、講習会では、情報オリンピック日本委員会強化委員の大槻氏から助言指導をいただきました。

7月　全コース合同の対面講習会を開催

7月28日（月）3つのコースの参加者として選抜された中高生が一堂に会し、生成AIを活用してコードを生成・開発する新しいプログラミング手法「バイブコーディング」でゲームアプリ制作に取組みました。

8月　人気YouTuberによる対面講習会が大盛況

8月20日（水）YouTubeチャンネル登録者数86万人を超える人気理系YouTuber「ラムダ技術部」のラムダ氏を講師に迎え、「だましの仕組みを見破れ！コーディングで探る詐欺サイトの裏側体験」と題したワークショップを実施しました。

プログラミング・エキスパート育成事業

IT未来・つくばサイエンスのAI教育

2025年度の実施内容　**AI時代に必要な高度なデジタル人材の育成を目指す**

企業のAIエンジニアによるハイレベルなAI教育を実施（2025年10月から）

AI基礎（1年生）	AIハイレベル（2・3年生）	大学等	AIエンジニア
「AIを知る」「AIを活用する」	「AIをつくる」「AIの精度を高める」	「AIの理論」	「AI開発」

詳細

- ➢AI（現行の学習指導要領には無い）についてのカリキュラムを導入
- ➢㈱サードウェーブのAIエンジニアによる生成AIチャットボット開発指導
- ➢楽天グループ㈱によるAIマーケティングについての講義
- ➢高度なPythonプログラミングやLLM（大規模言語モデル）の開発
- ➢「課題研究」でAIを活用したデジタルものづくり

※LLM（大規模言語モデル）　大量の文章を学んで、人のように文章を作ったり質問に答えたりできるAI

委託先：株式会社サードウェーブ

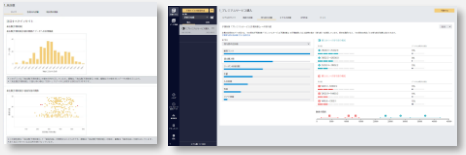
THIRDWAVE GROUP

第1回授業（公開予定）
IT未来　10/2（木）　8:50～10:40
つくばサイエンス　10/6（月）　12:40～15:45
※ その他の日の授業についても公開する予定

≪参考≫ AIの基礎（1年生向け）

- ➢AIオンライン学習サービスを導入　AI学習教材「AIチャレンジ」（ソフトバンク社）
- ➢予測系AIツール「Prediction One」（ソニー社）を活用したデータ分析
  例：おすすめのメガネ診断アプリをつくる

AI Challenge　SoftBank　Prediction One　SONY



2024年度の実施内容

IT未来高校　1年生（2024年9月～）

○AI基礎（機械学習プログラミング）学習アプリ「paizaラーニング」を活用
○AI学習教材「AIチャレンジ」（ソフトバンク）
・AIを知る（社会で活用されるAI実例、AI倫理）
・AIツールを活用しながら社会実装・課題解決まで実践
・AI活用企画をつくる
（ソフトバンク実務者助言）

AI Challenge

つくばサイエンス高校　1年生（2024年9月～）

○AI基礎（機械学習のしくみを学ぶ）
・画像処理ソフト（HALCON）活用
・オセロの勝敗の自動判定
（画像をもとに白黒を認識させ、その数を自動で数える処理をする演習）
・ボールが落下する動画の分析
（ボールが落下する様子を撮影した動画を1コマずつ確認。色情報などからボールだと特定できるように手作業で認識させることで機械学習の原理を学ぶ演習）

HALCON a product of MVTec

報告　⑤

運動部活動の地域移行に関する県内の現状について

学校教育部保健体育課

1　国の実行会議における最終とりまとめ

○　急激な少子化が進む中でも、将来にわたり生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実させる。

○　改革の理念等をより的確に表すため「地域移行」という名称は「地域展開」に変更する。

○　令和８年度から令和 10 年度までの３年間を「改革実行期間（前期)」、令和 11 年度から令和 13 年度までを「改革実行期間（後期)」と位置づけ、休日は、原則として全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。

○　費用負担の在り方については、地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担のバランス等を検討し、国・都道府県・市町村で支えあうことが重要。国において受益者負担の目安を示す。

2　本県の現状

(1)ほぼ全ての市町村において地域移行（展開）の取組を実施

＜市町村における地域移行の取組状況（事業化）＞

	令和５年度	令和６年度	令和７年度（予定）
市町村数	20 市町村（45.5%）	36 市町村（81.8%）	41 市町村（93.2%）
部活動数	192 部（９%）	563 部（26.8%）	1,104 部（52.6%）

※運動部活動総数：2,099 部（令和５年度末現在）

※令和７年度実証事業の実施予定数（茨城県：36 市町村 81.8%、全国：670 市区町村 38.9%）

(2)スポーツ庁より重点地域に指定

○令和７年度、地域スポーツ環境の整備に先導的に取り組む地域（10 県※）を重点地域に指定

※茨城県、群馬県、新潟県、長野県、兵庫県、福岡県、熊本県、長崎県、宮崎県、沖縄県

○スポーツ庁の示す主な政策課題に対応した取組を実施（５市）

・土浦市（多様なスポーツ機会の提供）

・つくば市（体育・スポーツ系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート人材等の活用）

・守谷市（企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用）

・神栖市（動画コンテンツ等の活用）

・取手市（企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用）

(3)本県の地域クラブ活動について

＜中体連主催の大会へ参加している地域クラブ数の推移＞

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
チーム数	64	102	145

3　県の取組

(1)市町村担当者連絡協議会の定期的な開催（５月、９月）

(2)総括コーディネーターによる市町村訪問、検討委員会等への参加

(3)市町村支援コーディネーター、地域クラブ支援コーディネーターによる相談窓口の設置

(4)茨城県地域クラブ活動人材バンクの充実〔登録者：597 名（令和７年８月現在)〕

(5)シンポジウムを開催し各地域の取組成果や課題などを情報発信（２月）

4　課題と今後の対応

(1)地域移行（展開）の拡充

→コーディネーター相談窓口、市町村訪問、資料提供等による市町村支援の継続

(2)市町村担当者の理解促進

→市町村担当者連絡協議会の開催、事例の共有や課題解決に向けたワークショップの開催

(3)指導者の質の保障・量の確保

→指導者研修会の開催、人材バンクの充実と運用

令和７年度 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業実施予定先 【R7年７月時点※】

岐阜県（30市町）
岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、羽島市、恵那市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津市、養老町、垂井町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、坂祝町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、御嵩町

秋田県（７市町）
秋田市、能代市、大館市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、羽後町

青森県（６市町村）
八戸市、むつ市、中泊町、風間浦村、佐井村、三戸町

北海道（42市町村）
旭川市、北見市、岩見沢市、留萌市、苫小牧市、芦別市、江別市、士別市、根室市、砂川市、登別市、伊達市、北広島市、当別町、蘭越町、岩内町、余市町、由仁町、長沼町、鹿栖町、東神楽町、東川町、中川町、初山別村、利尻富士町、斜里町、遠軽町、白老町、厚真町、安平町、むかわ町、新ひだか町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、池田町、足寄町、釧路町、厚岸町、標茶町、弟子屈町

山形県（20市町）
山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、尾花沢市、南陽市、大石田町、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町、三川町、庄内町

滋賀県（13市町）
大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近江市、米原市、竜王町、豊郷町、多賀町

福井県（17市町）
福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町

新潟県（24市町村）
長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、出雲崎町、湯沢町、津南町、関川村

岩手県（７市町）
盛岡市、宮古市、久慈市、遠野市、矢巾町、西和賀町、一戸町

宮城県（９市町）
気仙沼市、白石市、角田市、栗原市、大崎市、亘理町、利府町、加美町、涌谷町

福島県（８市町村）
福島市、会津若松市、白河市、喜多方市、国見町、川俣町、西郷村、三春町

兵庫県（27市町）
姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、三田市、丹波篠山市、養父市、淡路市、宍粟市、猪名川町、多可町、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、太子町、上郡町、新温泉町

京都府（９市町）
福知山市、舞鶴市、宇治市、宮津市、長岡京市、八幡市、京田辺市、宇治田原町、精華町

富山県（13市町）
高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、上市町、立山町、入善町、朝日町

茨城県（36市町村）
水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、龍ケ崎市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、常陸大宮市、那珂市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町、美浦村、阿見町、八千代町、利根町

山口県（10市）
下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、岩国市、光市、長門市、美祢市、山陽小野田市

大阪府（13市）
岸和田市、豊中市、池田市、泉大津市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、河内長野市、大東市、箕面市、門真市、大阪狭山市

石川県（13市町）
金沢市、七尾市、小松市、珠洲市、加賀市、かほく市、能美市、野々市市、津幡町、内灘町、志賀町、中能登町、穴水町

広島県（８市町）
三原市、府中市、三次市、安芸高田市、府中町、海田町、北広島町、世羅町

島根県（４市町）
江津市、雲南市、美郷町、邑南町

鳥取県（１町）
南部町

＜政令指定都市＞ 17市

群馬県（12市町村）
前橋市、桐生市、伊勢崎市、沼田市、渋川市、藤岡市、榛東村、吉岡町、長野原町、東吾妻町、川場村、玉村町

栃木県（15市町）
宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、下野市、上三川町、茂木町、芳賀町、壬生町、野木町

東京都（７市区）
品川区、渋谷区、中野区、板橋区、足立区、昭島市、日野市

埼玉県（22市町）
川越市、熊谷市、行田市、本庄市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、和光市、新座市、久喜市、北本市、三郷市、鶴ヶ島市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、小川町、寄居町

佐賀県（４市町）
佐賀市、多久市、基山町、白石町

福岡県（15市町）
豊前市、中間市、小郡市、大野城市、宗像市、福津市、宮若市、糸島市、那珂川市、宇美町、篠栗町、須恵町、久山町、桂川町、筑前町

岡山県（12市町）
倉敷市、玉野市、井原市、総社市、高梁市、備前市、真庭市、美作市、浅口市、和気町、早島町、矢掛町

山梨県（12市町）
甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、上野原市、甲州市、中央市、身延町、昭和町

千葉県（24市町）
銚子市、市川市、野田市、成田市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、市原市、流山市、我孫子市、浦安市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、香取市、いすみ市、栄町、東庄町、横芝光町、睦沢町、大多喜町

長崎県（９市町）
長崎市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、長与町、東彼杵町、川棚町、波佐見町

大分県（６市）
竹田市、豊後高田市、杵築市、豊後大野市、由布市、国東市

長野県（48市町村）
長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町、御代田町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、松川町、阿智村、泰阜村、木曽町、麻績村、山形村、朝日村、池田町、松川村、白馬村、坂城町、小布施町、高山村、木島平村、野沢温泉村、飯綱町、栄村

熊本県（21市町村）
八代市、玉名市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、玉東町、南関町、長洲町、和水町、大津町、菊陽町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村、益城町、氷川町、山江村、球磨村

鹿児島県（10市町）
鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、出水市、薩摩川内市、いちき串木野市、南さつま市、奄美市、長島町、与論町

和歌山県（７市町）
和歌山市、海南市、有田市、紀美野町、かつらぎ町、湯浅町、広川町

三重県（12市町）
四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、尾鷲市、熊野市、志摩市、伊賀市、菰野町、紀北町、御浜町、紀宝町

静岡県（10市町）
沼津市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、袋井市、伊豆市、菊川市、川根本町

沖縄県（８市町村）
宜野湾市、石垣市、糸満市、南城市、宜野座村、北谷町、中城村、八重瀬町

宮崎県（３市）
宮崎市、小林市、えびの市

愛媛県（11市町）
松山市、今治市、新居浜市、大洲市、伊予市、西予市、東温市、上島町、松前町、伊方町、鬼北町

香川県（９市町）
高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、宇多津町

奈良県（24市町村）
奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、平群町、安堵町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村

愛知県（20市町）
岡崎市、一宮市、春日井市、豊田市、犬山市、常滑市、江南市、大府市、尾張旭市、豊明市、日進市、北名古屋市、みよし市、豊山町、扶桑町、大治町、蟹江町、阿久比町、東浦町、南知多町

高知県（３市）
南国市、土佐清水市、四万十市

徳島県（６市町）
徳島市、小松島市、阿南市、阿波市、石井町、神山町

札幌市
仙台市
新潟市
さいたま市
川崎市
千葉市
横浜市
相模原市
京都市
神戸市
大阪市
浜松市
岡山市
広島市
堺市
名古屋市
北九州市

総実施自治体数：670市区町村

※他市町村と共同で地域クラブ活動を実施する市区町村を含む。

※各都道府県において実施予定先を最終的に決定するため、今後、増減の可能性あり。

令和７年度 重点地域における政策課題への対応

スポーツ庁

事業内容

- 地域スポーツ環境の整備に先導的に取り組む地域を**重点地域として指定**。**当該都道府県が主体となって関係者や専門家等で構成する推進会議を設置**し、域内の市区町村等と協力して**課題の解決に向けた取組を試行する**ことで、**他の地域でも参考となるような課題の解決方策**を見いだす。
- 取組の成果等についてシンポジウムや報告書等を通じて情報発信し、**全国的な取組を推進**。
- 令和７年度は新たに、**マネジメント人材の育成の仕組みづくり**や**運営を効率化するためのシステム整備**の２つを**政策課題として設定**。

◆ **12の政策課題** … **解決に向けて取り組むものを少なくとも３つ**選択し取組を実施。

① 多様なスポーツ体験の機会の提供（マルチスポーツ環境の整備）
② 高校との連携やジュニアからシニアまでの多世代での取組
③ スクールバスの活用や地域公共交通との連携
④ 不登校や障害のある子供たちの地域の学び場としての役割
⑤ トレーナーの活用を含めた安全確保の体制づくり
⑥ 体育・スポーツ系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート人材等の活用
⑦ 学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・教育施設との一体化などによる地域スポーツの活動拠点づくり
⑧ 企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用
⑨ 動画コンテンツ等の活用
⑩ 多様なニーズに対応した大会の開催
⑪ 持続的・安定的な運営を担うマネジメント人材の育成 新規
⑫ 運営の効率化のためのシステム整備 新規

選定状況

- 実施を希望する都道府県を公募し、有識者による選定会議における審査を経て、継続申請６県（茨城県、新潟県、兵庫県、福岡県、熊本県、沖縄県）に加え、新規申請４県（群馬県、長野県、長崎県、宮崎県）の **計10県（申請のあった全ての県）を選定**。

茨城県
土浦市、取手市、つくば市、守谷市、神栖市
継続
«主な取組内容（予定）»
・大学と連携した新しい地域スポーツ環境の構築…⑧
・ふるさと納税型クラウドファンディング、企業版ふるさと納税による財源確保…⑧
・自主活動への活用に向けた動画制作・配信…⑨ 等

群馬県
県内市町村と連携して実施
新規
«主な取組内容（予定）»
・大学との協働によるスポーツトレーナーの地域クラブ活動への派遣…⑤
・大学人材、アスリート人材の活用
・県スポーツ協会等と連携したマネジメント人材育成のための研修会等の実施…⑪ 等

新潟県
新潟県、長岡市※、村上市
※県から市スポーツ協会に直接委託して実施予定。
継続
«主な取組内容（予定）»
・多様なニーズに応じた活動機会の提供…①
・移動手段確保のための地域車両の活用…③
・特別支援学校への出前指導…④
・ＩＣＴを活用した遠隔指導の実施…⑨
・クラブ運営へのデジタルツール導入…⑫ 等

長野県
松本市、塩尻市、下諏訪町、高森町、麻績村
新規
«主な取組内容（予定）»
・アスレティックトレーナーが学校部活動および地域クラブを巡回(派遣)…⑤
・大学における「地域クラブ活動指導」科目の開設…⑥
・信州地域クラブポータルサイトの設営…⑫等

兵庫県
神戸市、姫路市、西宮市、芦屋市、伊丹市、三田市、猪名川町、稲美町、播磨町
継続
«主な取組内容（予定）»
・スクールバスやコミュニティバスの活用…③
・効果的な学校施設利用の検証…⑦
・地域クラブ活動の創設に関する相談窓口の設置…⑪ 等

福岡県
大野城市、宗像市
継続
«主な取組内容（予定）»
・全世代型スポーツ体験教室等の実施・・・①
・事故防止・危機管理マニュアルの作成・・・⑤
・大学・企業・総合型地域スポーツクラブ・トップスポーツチームを含めたコンソーシアムによる指導者の養成・派遣・・・⑥ 等

長崎県
佐世保市、諫早市、平戸市、南島原市、東彼杵町、川棚町
新規
«主な取組内容（予定）»
・年齢や障害の有無にかかわらず一緒に楽しめるプログラムの設置…④
・子供から高齢者まで多世代が交流ができ、誰でも楽しめるスポーツフェスタの開催…⑭
・マネジメント人材育成セミナー開催…⑪ 等

熊本県
南関町、大津町
継続
«主な取組内容（予定）»
・部活動にない種目の体験会、中学生が活動内容を考えるワークショップの開催…①
・技術習得のための練習メニューやゲームの仕方を学ぶことができる動画の作成…⑨ 等

宮崎県
宮崎市、えびの市
新規
«主な取組内容（予定）»
・少年団との連携、高等学校との連携…②
・エリアごとのバス運行やライドシェアなどによる移動手段の確保…③
・関係者との連絡調整や参加費の徴収等のためのアプリの活用…⑫ 等

沖縄県
宜野湾市、石垣市、南城市、宜野座村、八重瀬町
継続
«主な取組内容（予定）»
・大学との連携強化、キャンプ・合宿を行うチームと連携したクリニック・研修の実施…⑥
・学校体育施設のICT化（スマートロック・クラウドカメラの設置等）…⑦
・クラブ運営手引き・研修計画の作成…⑪ 等